

公表: 2023年 2月 1日 事業所名: 「ゼノ」にばと園 職員数25人 回収数23人 割合92%

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	17	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内で指導内容を確認し、部屋の都合をつけてもらったりしつつ、調整してやっている。</li> <li>発達障がい児と聴覚障がい児とで望ましい生活環境が違う</li> <li>子どもの状態に応じて訓練室を配慮している。しかし、人数や状態で難しい事がある。</li> <li>子どもの療育に支障がないよう、教材の配置に気を付けている。</li> </ul>	<p>○建物基準などは法令を遵守しているが、築43年経ち老朽化していること、また難聴幼児通園施設の基準でスタートし、定員や制度の変更に伴い増築、改築を重ねているため、複雑な建物構造になっている。死角もあり、見通しの持ちにくい建物構造なので、安全性に気を付け、できる限り、子どもにとって見通しが持ちやすいように手掛かりや働きかけを行い、整理され、安心して分かりやすく楽しく活動できる環境づくりに努める(2020年春、門扉を作ってスペースを分かりやすくした)。</p> <p>○部門(難聴・発達・相談)や療育形態(集団療育・個別療育・親子通園・毎日・併行など)、年齢(0歳~就学前)や状態、療育内容などが複雑なので、職員同士事前の打ち合わせをし、訓練室や検査室等の使用を調整している。</p> <p>○職員の配置基準は大きく上回っているが、難聴・発達・相談など、部門も療育形態も様々であるため、安全で質の高い支援を行うには、職員が基準以上に必要である。また、親子通園であり保護者との懇談を大切にしているが、保護者懇談の時間帯に十分な保育体制をとることが課題である。 職員体制整備・充実のための意見を関係団体の協議の場などに挙げていく必要がある。</p> <p>○危険箇所気づいたらすぐに対応し、清潔で心地よい環境であるよう、保護者の協力も仰ぎながら努力する。</p> <p>○施設の老朽化のため、新園舎整備に向けて計画をすすめている。増加し多様化している地域のニーズに応えられる施設整備を目指している。</p>
	② 職員の配置数は適切である。	15	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>最低基準は満たしているが、保護者との懇談の際の保育の人員が足りないことがある。親子通園をしているので今の制度だと改善が難しい。</li> <li>保護者との話し合いの時間に子どもの保育をしてくれる職員を工夫している。</li> <li>保護者支援で話し合いを行う際の保育職員数の不足</li> <li>少人数の保育者でも保育が安全にできるように、遊びを工夫している。(遊ぶ物、空間、遊び方など)</li> <li>比率的には足りているかもしれないが、子どもの状態により、目が行き届きにくいことがあり、人材が必要なおことがある。特に自由遊びの時間。</li> </ul>	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	4	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の構造や、日替わりのグループのため、子どもにとっては分かりにくい環境が多い。</li> <li>正面入り口の階段は、バギーが必要な園児さんの円滑な移動の妨げになっている。</li> <li>死角が多く、複雑な構造になっていると思う。</li> <li>分かりやすくするために絵カードを利用したり、分かりにくい子が分かりやすい環境になるように園内で検討し、優先して使えるようにしている。</li> <li>建物の構造上、難しい面もあるが、活動スペースを分けるなど工夫はしている。</li> <li>毎回部屋が違うなど子どもにとって分かりにくいように思う。</li> <li>環境的に見通しが持ちにくい(同じ建物に色んな障害の子や、年齢の違い、複数のグループが来るため制限や規制がある)。</li> <li>難聴契約外来の重心の子もまたち、車椅子でも出入りしやすい環境になるとよい</li> </ul>	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	12	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>掃除、片付けには気を配っている。</li> <li>建物の老朽化により、すべて清潔とはいえないが、今できる範囲では努力している。</li> <li>状態により、部屋の使い方を職員で相談したり、確認して決めるようにはしている。</li> </ul>	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	20	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの時間をとるようにしている。</li> <li>会議や朝会・終礼にて改善すべき点を確認している。</li> <li>必要との認識はあるが、目の前の業務に追われて、時間をとりにくい状況がある。</li> </ul>	○職員会議等の場で全体の状況把握や意見の集約を図る。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	22	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価表のみならず、「利用者の声」を集めたり、日頃の中で保護者の思いをできるだけ聞くようにしている。</li> <li>ちょっとした不安や不満も見逃さず、すぐに対応するよう努力している。</li> </ul>	○引き続き、保護者との共通理解に努めながら、職員全体での共通理解、認識を図り、具体的な業務改善に向けて努力する。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	22	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善に努め、次の評価の際に同じことが話題に上らないように努めている。</li> <li>ホームページでの確認はできていない。</li> </ul>	○保護者評価、事業所の自己評価に基づき、今後の改善に生かしていく。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	18	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で、以前のような外部講師の研修や、公開療育などが行いにくくなっている。</li> </ul>	○内部研修・外部研修などを計画的に行い、職員の学ぶ意欲を高め、職員の専門性や人間性を高めるように努める。コロナの影響で外部研修に出かけることはなかったが、オンライン研修が増えた分、今まで夜間や休日の研修に参加しにくかった職員も含め、多くの職員が参加しやすい良さがある。今後も、必要な研修、今の職員の働き方にあった研修の在り方を検討し、実施していきたい。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	23	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で、外部や大規模な研修がしにくくなっているが、園内の自主研修を企画したり、オンラインで参加できる研修には積極的に参加している。</li> <li>できるだけ研修には参加するようにしている</li> </ul>	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	23	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	20	3	・アセスメントツールとして、決まった検査を実施している。聴覚情報処理障害の評価など少しずつ広がってきているが、その他の検査バッテリーを広げていくことは必要だと感じる。 ・発達全般や発達検査に関する研修を行っている	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	22	1	支援内容を一人一人の子どもに合わせて、保護者にとってより分かりやすく提示する工夫が必要だと感じる。	○「ゼノ」こぼと園では、ガイドラインに沿った支援を次のように行っているが、さらに充実させるように努める。 ①親子通園で障害や発達の状態に合わせ、集団療育と個別療育を行う。楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるよう取り組んでいる。 難聴児に対しては、聴力状態の把握や補聴器・人工内耳の装用・調整・聴覚活用をすすめ、人と関わる力、経験や気持ちに根ざしたイメージやことば・コミュニケーションの力が育つよう取り組んでいる。(発達支援)
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	23	0	職員の中ではねらいや意図をもってやっているとは思いますが、保護者への説明などより丁寧に分かりやすくしていく配慮が必要だと感じる。	②親子通園、保護者懇談会などを通して、我が子を理解し子育てに元氣と見通しが持てるように支援したいと取り組んでいる。(家族支援)
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	21	2	・計画的に職員間で話す時間を確保するように努めている。 ・個別の相談や療育に対応することが多い職員もいるが、内容確認など必要に応じて相談しながらやっている。	③関係機関との連携を行う。特に保育所や幼稚園・子ども園などと併行通園している場合は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援している。(地域支援・保育所等訪問支援)
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	21	2	工夫しているが、療育の中身を広げていくための教材研究はまだ必要だと感じる。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	22	1		○子どもに合わせた適切な支援を行うために努力をしているが、部門の増加、ニーズの多様化による職員の役割の多重化、複雑化などのため、職員は手いっぱい状況である。職員全体で業務改善にとり組み、よりよい支援に結びつける努力が必要である。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	22	1		○活動プログラムや活動内容は、子どもの状態に合わせて適切に行われていると思われるが、やや経験主義に陥ったり、目的や意図があいまいになったりすることも見られ、研修や検討を重ね、療育の質を向上させるよう努める必要がある。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	20	3	・反省や打ち合わせをするよう努力はしているが、難しいこともある。 ・いつもは取れないこともあるが、できるだけ時間をとるようにしている ・時間をとれない時も多い。効率的に時間を使う計画性などが必要。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	23	0		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	21	2			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	22	1		
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	22	1		○子どもの状態に応じて、特に配慮を要する子どもとその家族に対して、必要に応じて関係機関(母子保健、ネウボラ課、障がい福祉課、保育課、学びづくり課、基幹相談支援センター、こども発達支援センター、子ども家庭センターなど)と連携し支援を行い、子どものすこやかな育ちを支えることができるように努める。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	21	2		・医療的ケア及び重症心身障害のある等に該当しない ・十分な連携はおこなえていない。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えている。	20	3		医療的ケア及び重症心身障害のある等に該当しない
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	23	0		コロナでとりにくくなっているが、電話連絡など行っている。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	23	0		
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	22	1		
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	14	9		※利用されている園児数が多いので、計画性をもって行うように努める。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	20	3		
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	22	1		内容によっては具体的に資料などを準備している
保護者への説明責任等	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。	21	2		
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	22	1		運営規程などについての説明機会は少ないと思う。
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の供給すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	23	0		
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	23	0		○年度初めのガイダンスや入園前の説明会で、運営規定や利用者負担について管理職から説明している。現場の職員にも運営規定や利用者負担について説明する機会を設けるよう努める。
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	23	0		○契約や、児童発達支援計画などの説明や同意に関して、児童発達支援ガイドラインで使われていることばに慣れておらず、理解されにくい面がある。できるだけその用語を使うように努力している。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	23	0		○保護者とは、直接対話、電話、連絡帳などの方法で意思疎通や情報伝達を図るようにしている。今年度から、緊急連絡はメール配信サービス「チェックインシステム」のメールで一斉送信で行っている。保護者が閲覧したかどうか分かるシステムになっており、連絡漏れのないように努めている。
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	23	0		○こぼと会(こぼと園保護者会)、療育を守る親の会などへの協力と連携を深める。
	㊲	個人情報の取扱いに十分注意している。	23	0		○保護者の意見をしっかりと受け止め、あわせて今回の事業所評価、自己評価をもとに、園のあり方や支援のあり方を見直し、よりよいものになるように努めていく。
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	23	0		○日常的な保護者への説明や相談に関して、さらに保護者が相談しやすくなるように、職員との信頼関係を深め、あたたかく専門性を持った支援を行っているように努める。
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	13	10		・以前は夏祭りなどで地域の人に案内したり、とんどのもちを地域のお世話になっている方にお配りしていたが、コロナ禍でできていない。 ・コロナ禍の影響で行事等の機会が持てていない。 ・現在は、コロナ禍のため行事がない

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	23	0	マニュアルは作成しているが、訓練が実施できていないものもある。	<p>○想定される緊急時等のマニュアルを漏れないように策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施するよう努める</p> <p>○毎月の避難訓練と建物の安全管理は行っているが、毎日通園ではない子どもが多い中、避難訓練をすべての子どもが経験できるように計画を立てていく</p> <p>○10月に地震、津波を想定した避難訓練を計画し、実施した。職員が災害時の状況を想定した訓練を実施したが、今後園児や保護者も含めた地震や洪水、津波を想定した訓練を計画していく。</p> <p>○全国的に災害が多発している状況も踏まえ、緊急時の気象情報や避難情報の把握と対応(保護者との連絡や関係機関との連携)を図り、安全を守るよう努める</p> <p>○虐待や身体拘束に関する研修を全職員で行い、日常に引き付けて考え、誰もが対処できるように取り組む。</p> <p>○虐待や権利擁護に関する研修に参加し、職員全体に周知している。今後も、年間で計画的に虐待や権利擁護、身体拘束等に関する研修参加に努め、人権意識や適切な関わりを職員全体で確認し、共有していく。</p>
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	19	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水や津波などを想定した訓練を実施できていない。</li> <li>・火事の避難訓練が中心で水害、地震については十分でないので、今後検討が必要であると意見を出している。</li> <li>・地震・洪水時の訓練は行っていない。</li> </ul>	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	23	0		
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	23	0		
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	22	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットの確認を日々行い、記録を残しているが、傾向を振り返り対策をまとめたものはまだ作成できていない。</li> <li>・毎日終礼での確認は大いなる意義があると思う。</li> </ul>	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	23	0	・研修を定期的に行っている。防止策や発見時の対応などの計画と指針を整備していく必要がある。	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	22	1		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 3月 8日

事業所名：「ゼノ」こぼと園 保護者数(児童数)100 回収数 80 割合80%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	65	11	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足しています。</li> <li>・現在の年齢であれば十分だと思います。</li> <li>・敷地が広いと思います。</li> <li>・自由に遊べるスペースきちんとあります。</li> <li>・一部の子がのびのびスペースを使っている感じがして気に入ります。</li> <li>・室内の活動時には、親・子ども・先生が揃うと、走りまわったり、ダイナミックに体を動かすには狭いと感じます。</li> <li>・活動内容によっては、もう少し広さがあっても良いと感じます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基準以上の活動スペースは確保されています。室内での活動時には、活動の内容によって、部屋の使い方を工夫し、子どもたちや保護者の方たちにとって、安心して分かりやすく活動できるよう環境づくりに努めます。</li> <li>○併せて一日も早く新しい園舎建設の計画が実現するよう努力いたしますので、保護者の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。</li> </ul>
	② 職員の配置数や専門性は適当か。	59	14	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困り事があれば、すぐに対応してもらえて感謝している。</li> <li>・毎回話を聞いてくださり、感謝しています。</li> <li>・いつも大変助かっています。</li> <li>・職員の配置数は十分だと思います。</li> <li>・専門性については満足しているが、先生の数が足りないように感じることもある。</li> <li>・子どもが多動だが、どこに行っても受け入れてもらえる。給食の先生や事務の方も含め、どの先生もみんな笑顔で連携が取れていて、子どもの名前も覚えてくれていて、職員同士の愚痴などを一切聞かないのは珍しいと思う。外部の方からも先生の評判を聞いていて、徹底していて信頼出来るし、素晴らしいと思う。</li> <li>・単独通園が多い日や、園外活動の際は先生の人数が足りていないと感じます。虫取りなど園外活動の際、単独の園児が一人で道端を歩いていたこともあり危なかったです。園児4人に対して職員1人の規定は満たしているのかもしれませんが、活動内容や単独児の人数によっては先生を増員してもらいたいです。</li> <li>・療育については満足できているが、職員が足りていないのか先生の負担が大きいように見えます。</li> <li>・昼食後に親達話し合いに出た時の自由遊びの間、先生が少なくて子ども達も外と中で分かれたりして大変そうに感じる時がありましたが、声かけをされて連携される姿もあるので、大丈夫かなと思ってお任せしています。</li> <li>・どの先生がどういう専門なのか、いまいち分からないので、なんともいえない。</li> <li>・もう少し職員の配置をして欲しいなど感じる時があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員配置は、基準を大きく上回っています。しかし、難聴・発達・相談など、部門も療育形態も様々であるため、安全で質の高い支援を行うには、職員が基準以上に必要な状態です。子どもたちや保護者の方たちが安心して過ごせるよう、必要に応じて、引き続き人材の確保を行い、職員体制、保育体制づくりに努めます。</li> <li>○また、親子通園であり保護者との懇談を大切にしていますが、保護者懇談の時間帯に十分な保育体制をとることが課題です。毎日、保育時の職員体制と配置を確認し、子どもたちと保護者の方たちが安心して過ごせるよう努めます。</li> <li>○職員の専門分野は様々ですが、どの職員も子どもを総合的に見て支援できるよう努めております。そのため、一人一人の職員の専門分野が分かりにくいと思いますが、相談内容によって、担当以外の職員が対応することも可能ですので、ご相談ください。</li> </ul>

環境・体制整備

③	生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	56	16	6	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の生活空間は、本人にとって過ごしやすいと思います。</li> <li>・現在ある環境の中で工夫して頂いていますが、後から増えた面積などとの繋がり方で複雑な建物になっていると感じます。</li> <li>・ろけつとの部屋は、本人にとって分かりやすいようになっていますが、バリアフリー化はされていません。建物がたくさんあり、ろけつとの部屋にたどり着くまでに、混乱するかもしれません。</li> <li>・第三こぼと園を利用するとき、古い建物を利用しており、構造がわかりにくいと感じる。</li> <li>・配置はこども達にも分かりやすくなっていますが、建物自体の老朽化は気になります。</li> <li>・どこに何があるかもう少し視覚的に示してもいいと思う。</li> <li>・給食室からろけつとの部屋までの通路が狭すぎるため、すれ違う時に危険を感じる。</li> <li>・全ての箇所の鍵が手間がかかりにくい。安全性は承知のうえで、その施錠に手間取っているうちに子供が脱走しかねない。もう少し簡単に複数箇所鍵をかける方法がないか。</li> <li>・園庭の門を乗り越えている子どももいて、バスからの門の坂は急で危なく、乗降時に隙間をすり抜け道路に飛び出しそうで不安を感じる。門が開いていた事もあったし、職員の方がしっかり守ってくださっているのと、親の目があるから事故が起きていないだけな気がする。</li> <li>・駐車場が遠いし、階段があり、バリアフリーとはいえない。</li> <li>・バリアフリー化ができていないため、移動手段がバギーなので通園しづらい。</li> </ul>	<p>○建物基準などは基準を十分満たしていますが、築46年経ち老朽化していること、また難聴幼児通園施設の基準でスタートし、定員や制度の変更に伴い増築、改築を重ねているため複雑な建物構造になっています。</p> <p>子どもの年齢や状態、療育形態も様々で、日替わりの部屋使用になります。</p> <p>子どもの状態や必要性によって、子どもたちにとって、安心して分かりやすく楽しく活動できる環境づくりに努めます。</p> <p>○併せて一日も早く新しい園舎建設の計画が実現するよう努力いたしますので、保護者の皆様のご理解をお願いします。</p> <p>○園庭の門が開閉がし易いように、安全性が損なわれないことを確認し、3つあった鍵を一つ減らしました。</p> <p>○危険が想定される場面や場所、子どもの行動は、定期的に職員全体で確認し、改善と対応に努めます。日々の通園の中で危険に感じることがあれば、引き続き遠慮なくご意見ください。</p>
④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	51	28	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも楽しく過ごさせて頂いています。</li> <li>・子どもにとって生活しやすいと思います。</li> <li>・古い建物ですが、清潔感があり、先生方の配慮を感じます。子どもの意見として、汽車の部屋のトイレが怖い、臭いが気になる時がある、子どものトイレの便座が冬は冷たいので使いたくないとありました。</li> <li>・汽車の部屋前のトイレにハンドソープが無いので設置して欲しいです。</li> <li>・仕方ないことだけど、冬場は凄く寒いです。</li> <li>・1階が暗く、冬場は暖房が効きにくくて寒い。</li> <li>・第3こぼとは壁が剥がれていたり、ほこりっぽいと感じる。</li> <li>・ろけつとのトイレの手洗い場に他のトイレと同様に手洗いせっけん、消毒布を一緒に設置してほしい。</li> <li>・給食時、子どもが外で食べるのは構わないが、トイレの前では食べたくない。スペースがなくて仕方がないのは分かりますが、不快だしトイレに行けなくて困る。</li> <li>・園庭のドブは何用ですか。生き物の割にはいないような…そうでなければ柵もなくて危険と不潔感しかない。</li> <li>・ろけつとの部屋は比較的新しくきれいですが、他は老朽化が目立ちます。</li> <li>・施設の老朽化が気になる</li> </ul>	<p>○築46年経ち、老朽化が目立つ建物ですが、掃除や危険箇所の把握修繕に努め、極力清潔で安全な環境づくりに配慮します。</p> <p>○寒さ対策、トイレのハンドソープなどの交換、配置など、できることは即時対応させて頂きますので、引き続きご意見いただければと思います。</p> <p>○園庭の溝は、生き物とりなど、子どもの良い遊び場になっています。危険のないよう見守りを徹底すること、衛生面に配慮し、遊んだ後の手洗いを促すなどに気をつけますので、ご理解頂けたらと思います。</p>

適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	69	4	0	7	・子どもの困り事などを専門的な視点でみて頂いています。	○「ゼノ」こばと園では、お子さんと保護者の方と一緒に通ってきていただき、障がいや発達の状態に合わせて、集団療育と個別療育を行います。楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるように、「児童発達支援ガイドライン」に沿って次の内容で取り組んでいます。 ＜発達支援＞ 難聴のお子さんに対しては、聴力状態の把握や補聴器・人工内耳の装着・調整・聴覚活用をすすめ、またすべてのお子さんに対して、人と関わる力、経験や気持ちに根ざしたイメージやことば・コミュニケーションの力を育てるように取り組んでいます。 ＜家族支援＞ 親子通園、保護者懇談会などを通して、我が子を理解し子育てに元気と見通しが持てるように支援したいと取り組んでいます。 ＜地域支援＞ 保育所や幼稚園・こども園などと併行通園されている方は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援しています。 ○これらガイドラインに沿った内容で児童発達支援計画を立てていますが、一人ひとりへのより丁寧な説明を心掛けて行くよう努めます。 ○支援内容については、概ね保護者のみなさんのご理解を得ていると思われませんが、さらに丁寧な説明とニーズの把握に努めると共に、研修や検討を重ね、療育の質を向上させるよう努めます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	63	7	0	10	・子どもだけに関わらず、きちんと最近の様子を聞いてくださる姿勢がみられます。 ・設定されている4項目の支援の明確な線引きがわかりづらく、正しいことを記載いただいていると思いますが、ハッキリそれが正しいと理解が難しいです。 ・地域支援がよくわからない。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	68	6	0	6	・いつも細かい変化にも気づいてくださり、対応してくださっています。 ・出して頂く計画の内容、日々の活動それぞれに大きな疑問はなく、子どもが成長する姿を見て、不満に思うことはありませんが、それぞれの紐付けが自分の理解の中で全てがうまく結びついていないと思うので、このあたりをケアしていただける機会があるとありがたいです。 ・されているのか、されていないのかが、具体的には分かりにくい。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	64	9	1	6	・子供一人一人にあった関わりや、活動を考えてくださっています。 ・ある程度の流れはあるが、子どもたちの状態に沿ってあると思います。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	41	11	13	15	・コロナ禍で、園としての交流活動が減っている(3)。 ・コロナ禍のため、適正に交流が行われているかがわかりづらいです。 ・現在、働いているので保育所も利用し、接する機会もあるが、働いていないと基本的にはないと思う。 ・あまりないかなと思います。しかし、こばと園のお友達と毎週会うのが我が子にはすごく嬉しいようです。 ・まだこばと園しか通っていない為ありません。コロナも影響しています。 ・交流とは平行通園も該当するのでしょうか？質問の意味が理解できずすみません。	○コロナ禍のため、例年通りの交流はできていません。感染状況を見ながら、出来る範囲で保育所幼稚園との連携は行っていますが、十分なことはできていないのが現状です。 ○今後も、併行通園先と確認しながら、可能な交流の在り方を探り、出来る限り実施していきたいと思えます。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	74	4	1	1	・丁寧に説明をしてくださっています。	○運営規定については、入園説明会でお伝えしています。継続の方には、入園式、あるいはそれに代わる新年度ガイダンスでご説明しておりますが、今年度はコロナの感染状況等で、どちらも実施が難しかったので、曜日ごとに時間を設けお伝えしました。皆様にはご迷惑をおかけしますが、今後も感染対策に努めながら、できる限り、保護者の顔合わせや交流の機会を含めた、丁寧な説明の場を設けていきたいと思っています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援内容」と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	68	6	0	6	・わかりやすく説明をし、わからない所の説明をしてくださっています。 ・あまり覚えていない。	○児童発達支援ガイドラインに沿った説明は実施できていません。ガイドラインに沿った支援内容になってはいますが、今後はより丁寧に保護者の方に分かりやすい説明に努めるよう、方法を検討していきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか。	63	5	2	10	・関わり方などのアドバイスをいただいたり、また一緒に関わり方を考えてくださっています。 ・勉強会がそれにあたるとすれば、はい。 ・こちらが聞いたら答えてくださる形で、こうしてああしてなどはなく、親も子も自然体でいる、今はその段階なのかと勝手に思っています。 ・先生達から子どもとの関わり方を学べる機会がとても多い。 ・具体的にこれというのはわかりませんが、こぼと園での活動そのものが、家族支援となっており、こどもに限らず保護者のサポートもして頂けていて、非常に助かっています。	○保護者支援を大事に考え取り組んでいます。プログラムとしてのトレーニング的な支援は行っていません。保護者の方にとっても、当園が安心でき心地の良い場になるよう、それぞれのペースで子どもへの関わりを学べるよう取り組んでいます。年間を通して、保護者教室や学習会、保護者同士の交流などを実施しています。コロナ禍で例年通りに実施できないことも多いですが、オンラインでの実施や、広い会場を確保したり、時間や人数を限定するなど工夫し、できる限りのことを実施しています。今後も感染対策に努めながら、できる限りの保護者支援や交流の機会を計画したいと思っています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	76	1	0	3	・日頃から、情報共有をし、子供の関わり方について考えています。 ・〇〇くんお母さん、通園初期より、すごく落ち着いたね！！など、少しの変化でも気づいてくださり、子どもに対する変化を素早く気づいてくれる先生方の言葉掛けが嬉しいです。 ・こぼと園、幼稚園、家庭の三者間での情報共有の場を設けて頂いており、それぞれの子どもの姿が知れて参考になっています。 ・単独の時でもいつも先生から、様子を教えて頂いています。	○親子で通っていただき、親子で一緒に遊び、活動し、活動終了後には保護者懇談の時間を必ず持ち、活動の意味やこどもの様子について話し合います。 ○共に考えあったり、共有したりすることを通して、保護者が、我が子を理解し子育てに元気と見通しを持って仲間と共に歩んでいけるように支援したいと考えています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	75	2	1	2	・困り事などその都度、アドバイスや面談、電話対応など、丁寧に対応していただいています。 ・毎回毎回、先生の言葉に助けられています。	○保護者とは、直接お話ししたり、電話、連絡帳などの方法で意思疎通や情報伝達を図っています。また、緊急時などの情報伝達は、メールでの一斉送信も行います。

保護者への説明等	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	59	11	3	7	<p>コロナ禍もあり、保護者間との関わりが減ってきている。その中でも、できる限りの関わりを考えてくださっています。</p> <p>特にはないです。</p> <p>もう少し回数(時間)を増やしてもいいかなと思う部分は、あります、</p>	<p>〇こぼと園の保護者会、広島県東部地域の通園施設の保護者会(療育を守る親の会)など、グループや各園を超えたつながりがあります。</p> <p>〇全体行事や学習会でグループを超えた交流を計画していきます。</p> <p>〇コロナ禍で、保護者同士の交流が制限されてしまうことが多いですが、今後も可能な範囲で感染対策に努めながら、保護者の交流、連携を深めていけるよう計画していきます。</p> <p>〇毎回の療育時間の後に、保護者の懇談を実施していますが、それ以上に交流の時間や学習の時間が必要という思いがあれば、気軽にご相談ください。必要に応じて、出来る範囲で企画していきたいと思えます。</p>
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	60	6	1	13	<p>・何かあればすぐに対応して下さっています。</p>	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	68	6	2	4	<p>・何かあればすぐに対応して下さり、感謝しています。</p> <p>・連絡帳だけではなく、連絡ノートが別にあるのは嬉しい。先生の返信をせかしている訳では無いのですが、書きたい時に手元に無い時はモヤモヤしますが、交換日記みたいでこちらは楽しい。ただクラス全員の相談に答える先生ひとりの負担は大きいのではと思う。何でも答えて受け止めてくれる先生の存在がありがたい。</p> <p>・子どものその時の気持ちを配慮して、寄り添っている姿勢があります。</p>	<p>〇親子での通園時には直接お話をさせて頂いたり、必要に応じて電話や連絡帳での連携、相談対応も行っております。時間がなく、十分に連絡帳のお返事が書けないことがあり、ご心配をおかけすることもあるかと思いますが、可能な限り、必要な情報は電話や連絡帳、直接のお話など通して、漏れのないようお伝えできたらと思います。</p>
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	63	4	2	11	<p>・ホームページ上で見れる情報をもっとあると良いと思います。お便りなども、ペーパーレス化を図っても良いのではと思います。</p> <p>特にはないです。</p> <p>・ペーパーレス化の取組みなど、去年と比べて管理がしやすくなりました。</p> <p>・Hpの事など促されたことがないので知らなかった</p>	<p>〇月の予定表や、行事や学習会の案内は、メール配信システムのデータ送信でお知らせしています。</p> <p>〇社会福祉法人「ゼノ」少年牧場の機関紙「ふれあい」や「こぼと園だより」を配布しています。</p> <p>〇「ゼノ」少年牧場のホームページの中にこぼと園のホームページがあります。今後、ホームページ上での情報発信も検討していきます。</p>
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか。	68	6	0	6	<p>・知らない</p>	<p>〇個人情報の取り扱いについては、入園時にご説明し、同意いただいております。</p> <p>〇お互いを知り合い理解し合うことと、個人情報の保護とのバランスをとりながら保護者支援をしていくことに努めたいと思えます。</p>

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	56	10	2	12	・感染症対応マニュアルではマスクはどうなってるんでしょうか？だんだんマスクを外ではしなくてもいいと政府が言ってきてますが、そのつどマニュアルをどう対応されていますか？	○防災対策は、毎月の避難訓練と建物の安全管理(火災報知機の点検、消火器の設置、危険個所の把握と対応など)に努めています。避難訓練については、毎日通園でない子どもが多いため、すべての子どもに経験できるように計画をたてて実施します。地震や津波については、職員は訓練していますが、今後、園児や保護者の方も含めた、訓練を実施していけるよう計画していきます。  ○コロナウイルスについては、その時々々の感染状況や、国および広島県、福山市等の方針を参考にしながら、感染対策を決めています。マスクについては、子どもたちはそれぞれの課題や状況がありますので、一律につけなければならぬ、つけなくても大丈夫というルールは設けておりません。保護者については、皆様が安心して通って頂けるよう、基本的にはマスクの着用や検温、消毒などの感染対策を引き続きよろしくお願いいたします。基本的なルールは定期的に見直しながら更新し、皆様にお伝えしますが、それぞれの立場や状況を理解し合いながら臨機応変に対応させて頂けたらと思います。何か気になることがございましたら、引き続きご相談して頂けるようお願いいたします。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	53	7	8	12	・火災の避難訓練はしたが地震の避難訓練はしたことがないので1度、経験しておきたい。	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか。	74	2	0	4	・とても楽しみにしています。 ・いつも楽しく通園させてもらって、いろんな学年のお友達や、先生方と関わって嬉しそうです。 こぼと園に行く日があるので、こども園でもギリギリ頑張っている ・毎週木曜日を楽しみに日々過ごしています！！ ・幼稚園の行き渋りがあるわけではないが、とりわけこぼと園への通園の方が嬉しそうにしているように感じます。 ・とても楽しく通わせて頂いています。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか。	66	13	0	1	・子どもとの関わりなどの悩みを熱心に聞いてくださり、気持ちに寄り添ってくださるので、いつも皆さんに元気を頂いています。 ・ここで良かった！私も通園を楽しみにしています。 ・親同伴でなくても良いようにしてほしい ・先生方、お友達のお母さんお父さんの言葉に日々感謝し、子育てを頑張っています！！ ・こぼと園に通園できて良かったです！！ ・いつもありがとうございます。大変満足しています。 ・子供の成長に対してプラスになっているか、今は分からない	○子どもにも保護者の皆さんにも満足してもらえるよう、引き続き努力していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、

その結果を集計したものです。